



年頭のご挨拶



一般財団法人沖縄県社会保険協会

会長 川上 康

あけましておめでとうございます。

会員の皆様をはじめ、本誌をご愛読いただいております皆様方には、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、協会事業の運営に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、昨年海外では、米国の第二次トランプ政権の発足に伴い大幅関税が導入されるなどの経済的な混乱はありましたが、世界各地での紛争が一部収束に向かうなど和平に向けての動きも始めており、本年こそは落ち着きを取り戻すことを願うばかりでございます。

一方国内では、史上初の女性首相となる高市新政権が発足し、株価が史上最高値を更新するなど明るい話題も多くありましたが、円安や関税に伴う輸入物価の上昇や米価・ガソリン価格が高止まりするなど、物価上昇に賃金の引き上げが追いつかず、引き続き家計を圧迫する状況が続いています。

我が国では、少子高齢化が急速に進むなか、社会保障費の増大にどのように対応していくかが継続的な課題となっており、政府では、安定した財源の確保や更なる制度の充実を図るよう、様々な改革に取り組んでいます。

その様ななか、賃上げの動きが加速し中小企業にまで広がるかどうか、また「年収の壁」の見直しがどのようになるかなど、本年は今後の社会保障制度の在り方に影響のある年となりそうです。

私ども協会といたしましては、県内各年金事務所や全国健康保険協会沖縄支部（協会けんぽ）と連携を取りつつ、会員の皆様に社会保険制度に関する様々な情報を「広報誌」や「ホームページ」を通して提供して参ります。

また、社会保険に関する事務講習会や各種セミナーの開催、被保険者および被扶養者に対する健康づくり講習会やDVDの無料貸し出し、宿泊施設の優待利用（割引）や家庭常備薬（特別価格）の斡旋といった福利厚生支援など、各種事業を積極的に行ってまいります。

昨年も多くの方の皆様に新たにご入会いただきましたので、より一層会員様向けの事業を拡充してまいります所存でございます。

本年も、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます年頭のご挨拶とさせていただきます。